

133 ゴジュウカラ

(スズメ目)

兵庫県ランク: C

Sitta europaea

繁殖個体群:C 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

アフリカ北部から南・西・東ヨーロッパ、シベリア南部、モンゴル北部、中国、朝鮮半島、千島列島、サハリン、日本、台湾などに繁殖分布する。日本では北海道から九州に周年生息し繁殖する。山地の落葉広葉樹林や亜高山の針葉樹林などの深い原生林に生息し、樹洞やキツツキの古巣などに営巣する。主に樹上の昆虫類やクモ類を採食するが、秋から冬には木の実なども食べる。



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

国内分布

本州、四国、九州北部

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★豊岡市、宝塚市、三田市、★養父市、★朝来市、★宍粟市、★神河町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個 体 数 激 減	分 布 域 激 減	餌 の 可 用 性 の 低 下	特 殊 競 争 圧	特 殊 捕 食 圧	特 殊 繁 殖 環 境	特 殊 採 餌 環 境	特 殊 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
○					○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからCランクへ変更。

県北部には周年生息し繁殖している。主な生息環境であるブナ林が、近年の開発で減ったことにより個体数が減少した。しかし、最近では主要な生息地である県北部で比較的安定して生息が確認されていることから、Cランクへ変更した。

保護上の留意点

生息地であるブナ林の保全が重要であるが、本種は、特に古木や大径木が多い森林に好んで生息するので、その保全および大径木の健全な育成に努めることが重要。また最近のブナ林の衰退に伴う本種の生息状況の調査が望まれる。